HOW TO:

Makachainネットワークを接続：



STEP BY STEP GUIDE



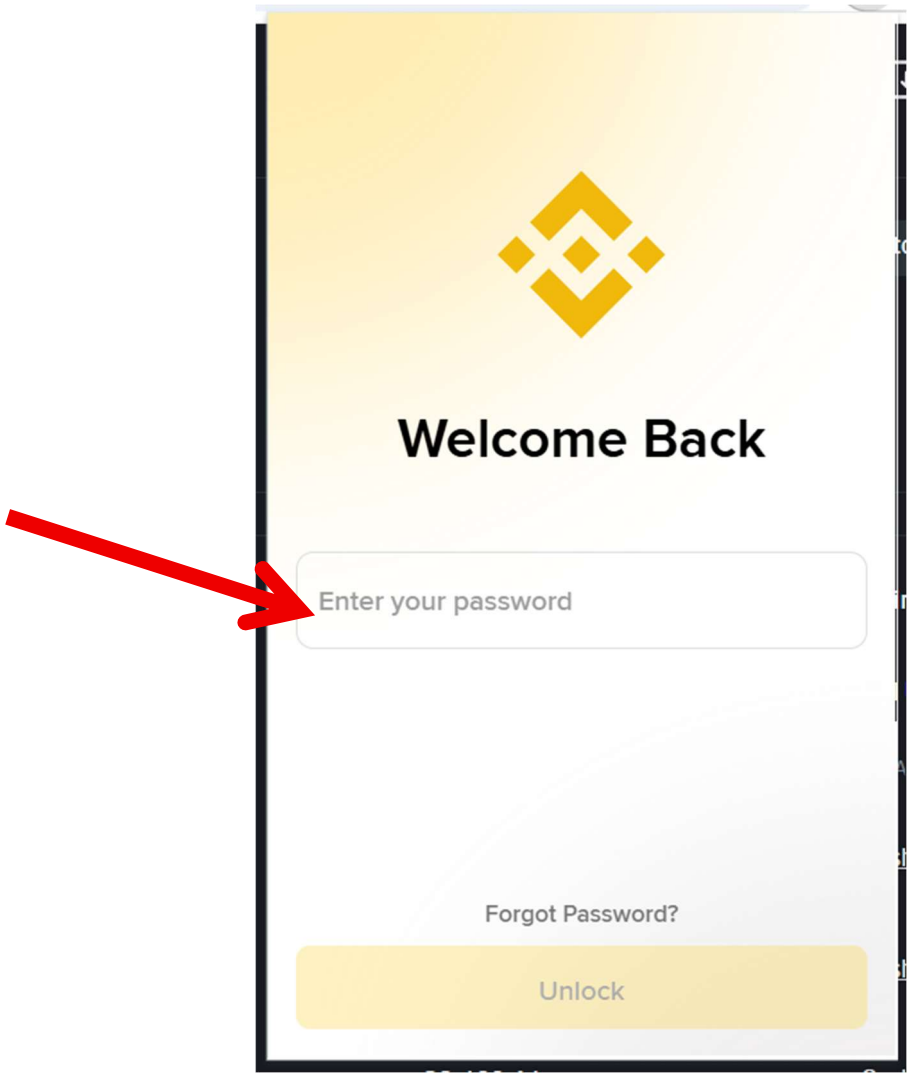
このガイドでは、MakachainネットワークをBinanceウォレットに接続する手順を順を追って説明します。接続すると、ウォレットから直接Makachainネットワークにアクセスして操作できるようになります。

始める前に、次のものが必要です：

MakachainをBinance ウォレットに接続する

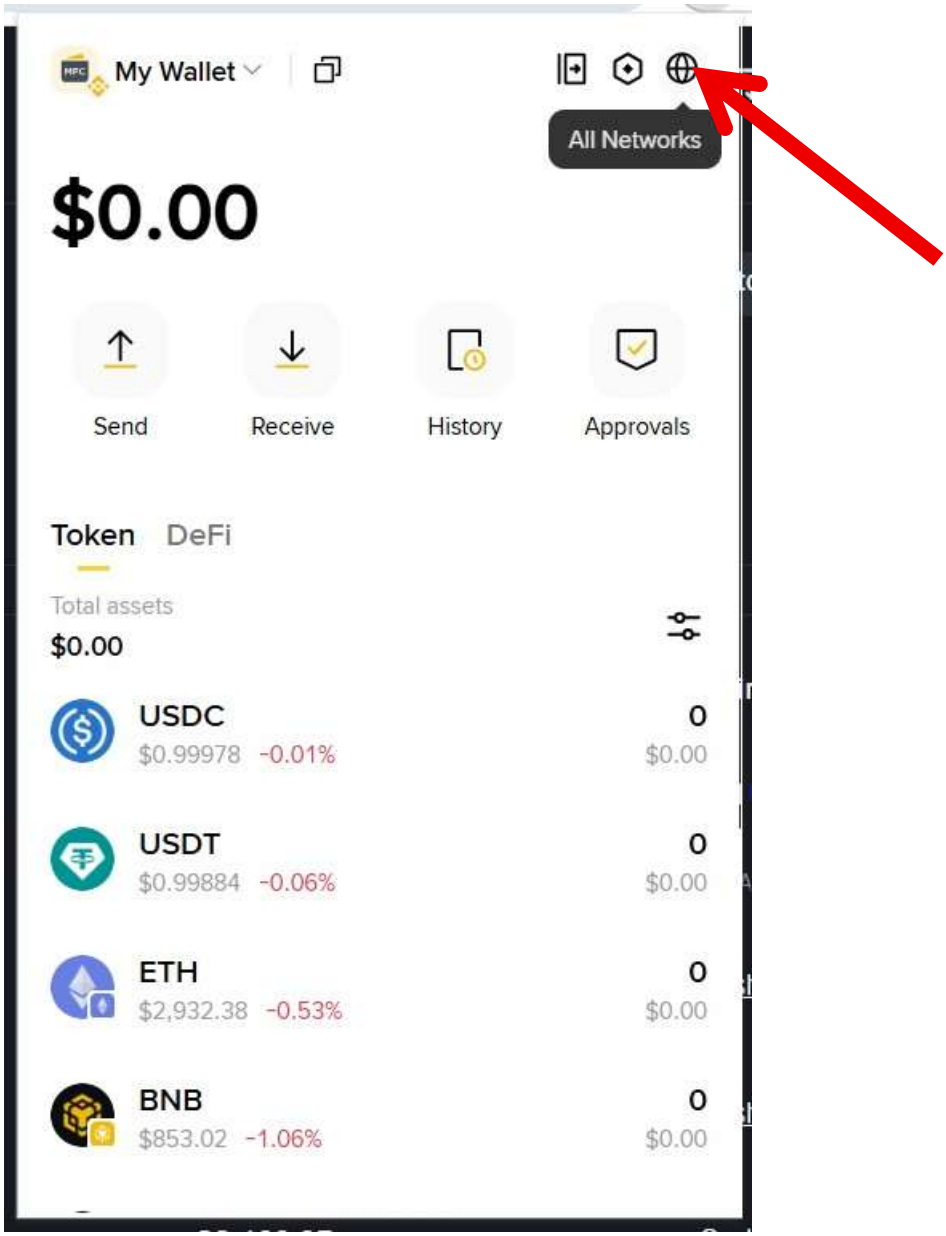
1

現時点では、Makachainネットワークを Binanceに追加する作業は手動で行う必要がある点にご注意ください。まず、Binance の Chrome 拡張機能をこちらからダウンロードします。次に、認証情報を使用して Binance Wallet にログインし、手動でネットワーク設定を進めます。



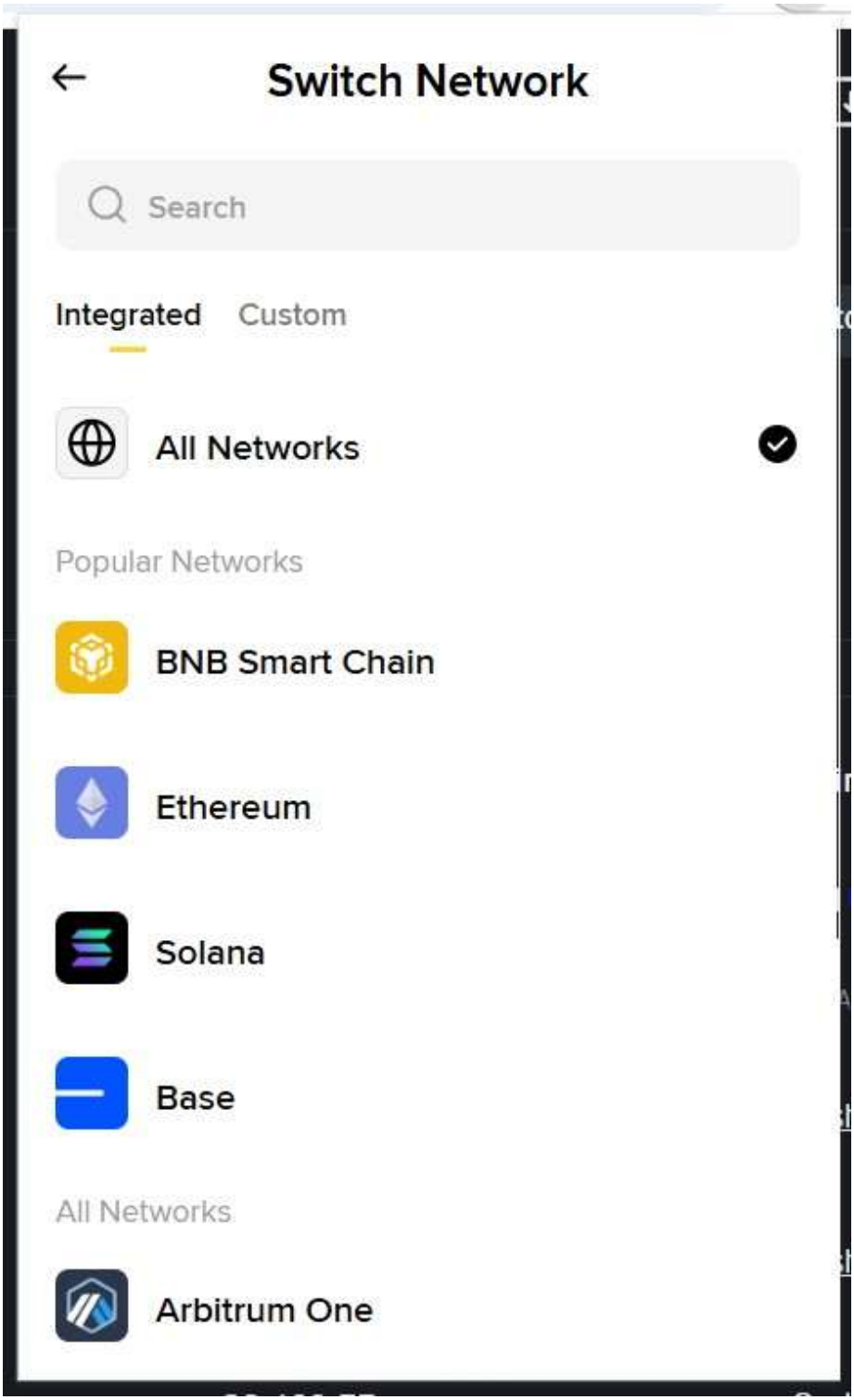
2

ログイン後、「All Networks」ボタンをクリックします



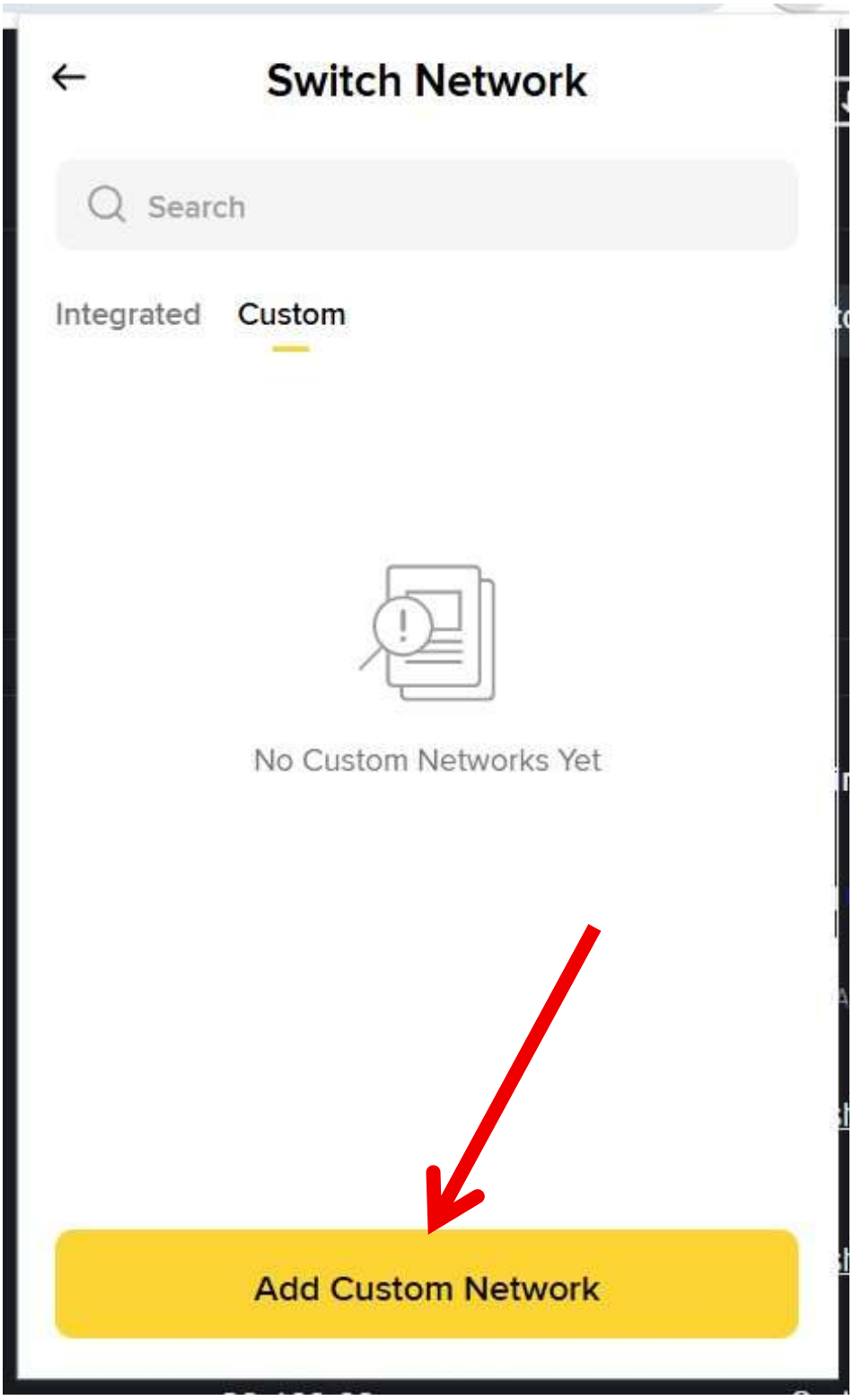
3

次に「Custom」ネットワークボタンをクリックします



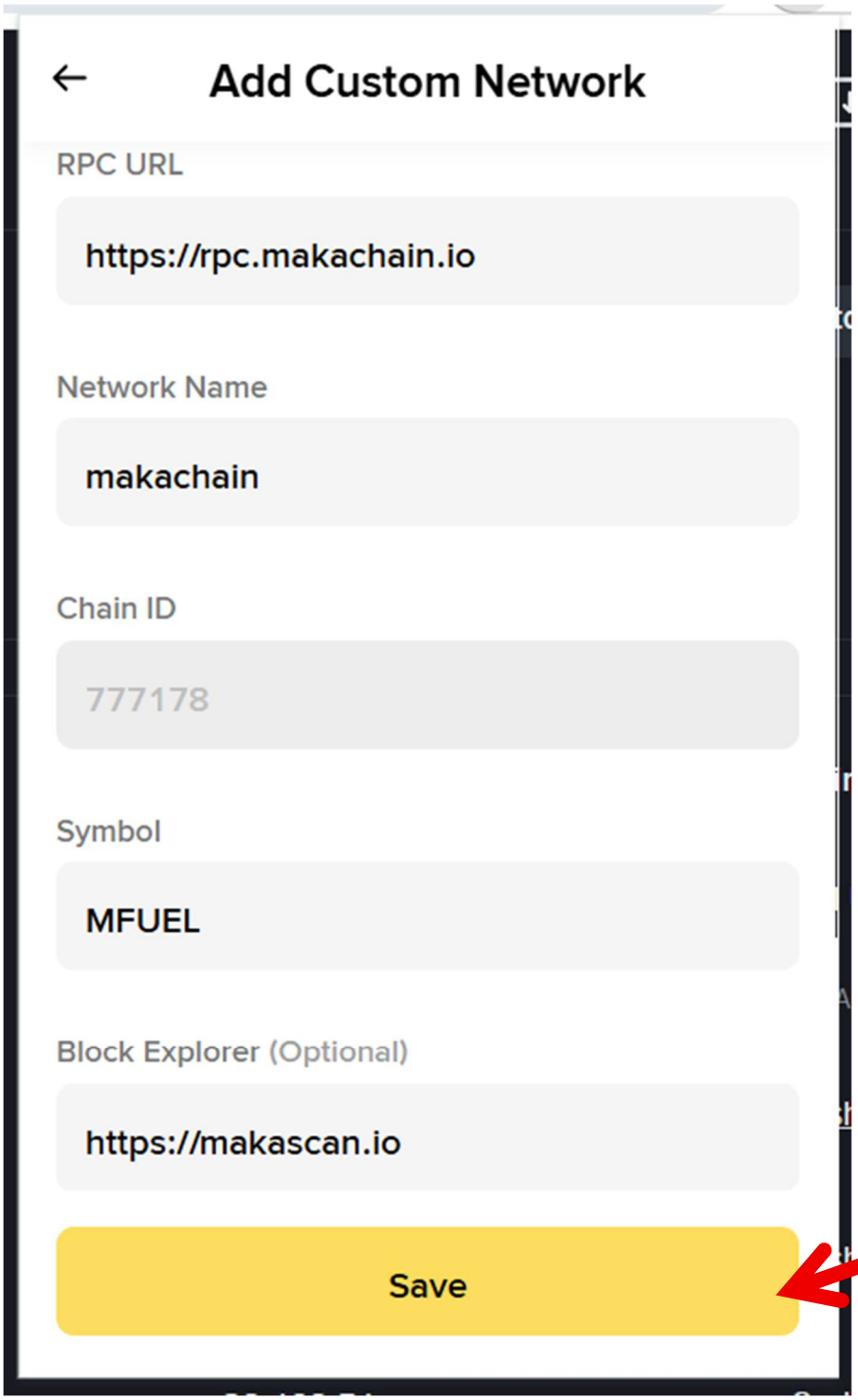
4

次に「Add Custom Network」ボタンをクリックします



5

次に、フォームのすべての項目に以下の情報を入力する必要があります。入力が完了したら、Save をクリックします。



RPC URL: https://rpc.makachain.io

Network name: makachain

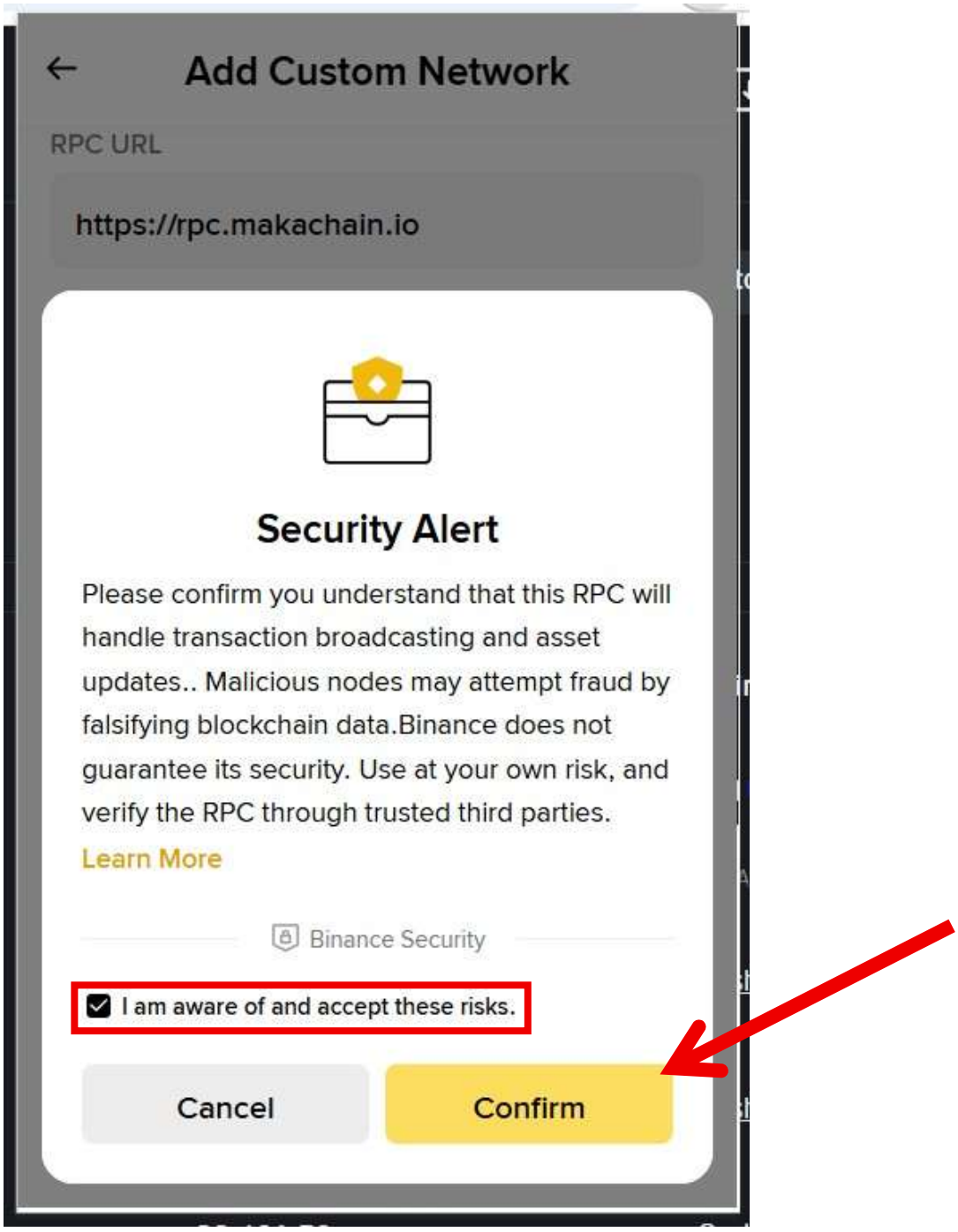
Chain ID: 777178

Symbol: MFUEL

Blockchain Explorer: https://makascan.io

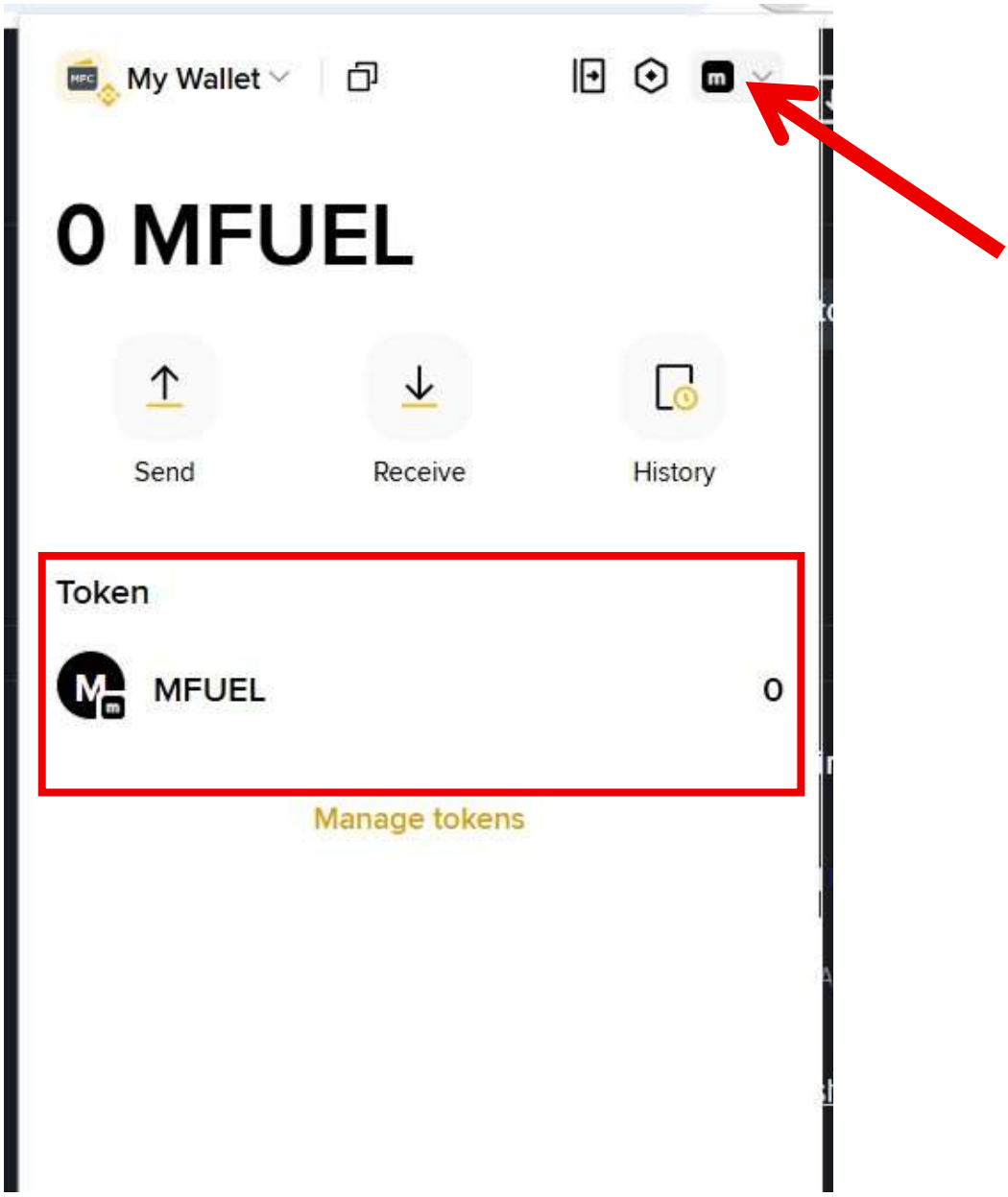
6

Save をクリックした後、セキュリティ警告を認識したことを確認し、次に確定する必要があります



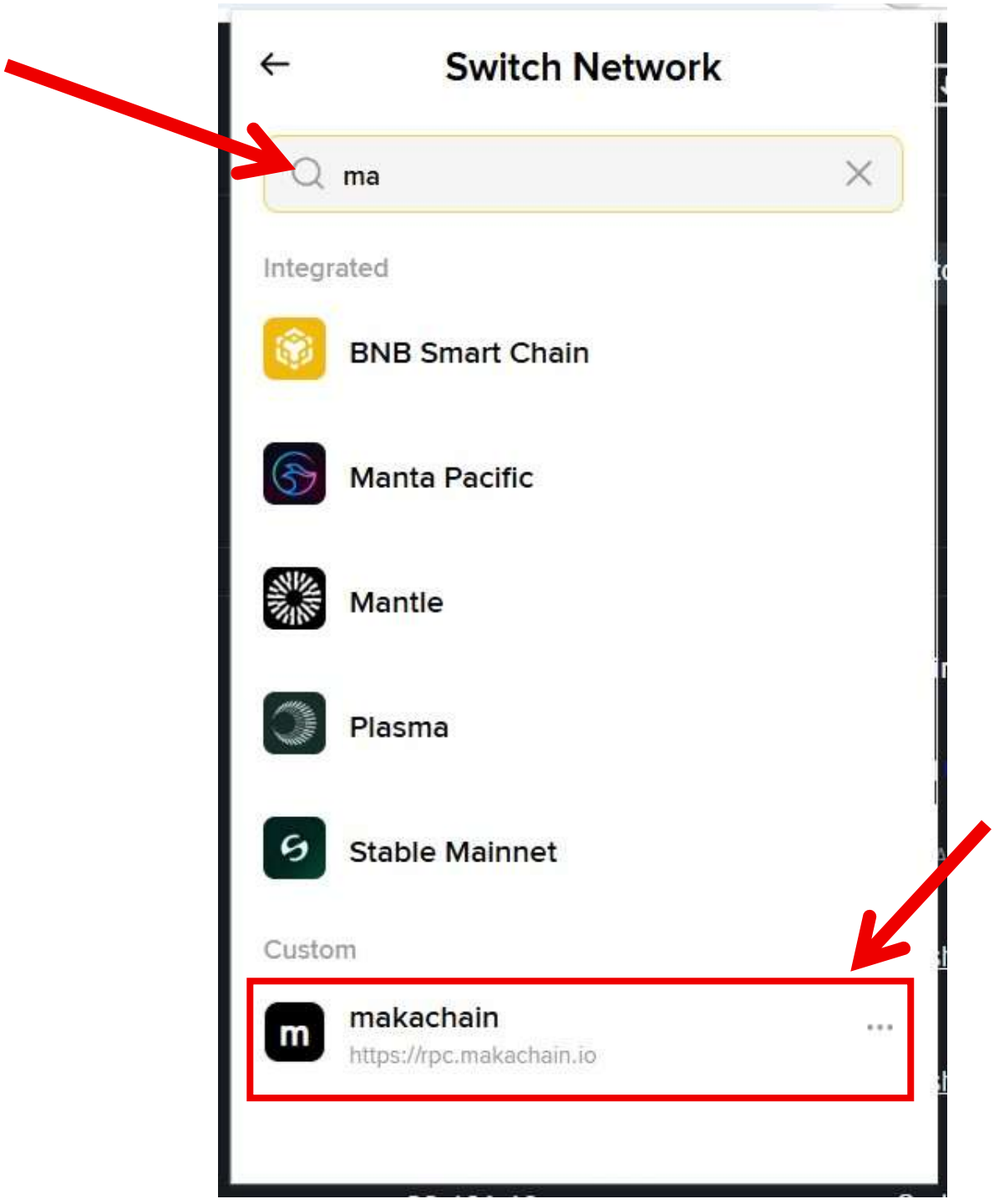
7

これで、Makachainネットワークが Binanceウォレットに接続されたことを確認できます



8

All Networks ボタンをクリックして、検索バーで Makachain ネットワークを探すこともできます



Makachainの取引手数料はどのように機能しますか？

Makachainでは、ネイティブトークンはMFUELと呼ばれます。このトークンは、他のブロックチェーンと同様に、取引手数料（gas fees とも呼ばれます）の支払いに使用されます。

しかし、ここに大きな違いがあります。MFUELの価値はゼロです。

つまり、システムは技術的にはMFUELでgasを請求しますが、その価値は0なので、実際には何も支払っていません。言い換えれば、gas残高を気にせずに取引を送信できます。

また、MFUELを購入する必要はありません。必要なときにネットワークが自動的に補充してくれるので、常に操作に十分な量が確保されます。

では、gasが無料なら、ネットワークはどうやって収益を得るのでしょうか？

答えは簡単です。取引を行うたびに、ネットワークはわずかな

送金するのと同じ通貨で10セント（USD 0.10）の固定手数料を請求します。

例：

- 50 USDTを送金すると、手数料としてUSDTで0.10ドル相当を支払います。